

令和5年度「予算決定」のお知らせ

令和5年度予算案が、令和5年2月15日開催の第84回組合会において承認されましたので、その概要をお知らせいたします。

- ◇ 一般勘定（健康保険）令和5年度予算規模 1,489,970,000 円
(内経常赤字予算額 222,144,000 円)
- ◇ 介護勘定（介護保険）令和5年度予算規模 228,006,000 円

■ 一般勘定

一般保険料率は令和5年度も料率改定をしない予算編成をおこないました。
余裕のある組合運営ではありませんが、一般保険料率90/1000と変更ありません。

収入について、総額は14億8,997万円といたしました。

内訳としては、健康保険料収入11億6,833万円、調整保険料収入1,760万円、国庫補助金収入50万円、高額医療交付金を300万円、雑収入53万円を見込んでいます。

また別途積立金3億円を取り崩して令和5年度の収入として繰入れ、令和4年度の残金は令和5年7月の決算残金処分時に積み立てて財産とする予定です。

支出では、令和5年度の保険給付費予算を令和4年度予算よりやや低く設定し、6億4,928万円としています。(昨年度6億6,472万円)

納付金については、支払予想額が上がり、支出予算は6億2,000万円と令和4年度納付金(5億9,200万円)に比して2,000万円の増加となりました。

なお、支出予算総額のうち納付金の占める割合は42%(昨年36%)となっています。

また人間ドック、家族健診を中心とした「保健事業費」は7,492万円と、これまでの予算(昨年度1億1,395万円)に比べて大幅に抑えております。これは、社員の人間ドック費用について、各事業所と費用を折半して負担することを組合会にてご承認いただいたことによるものです。例年よりも3,500万円減額した予算としております。

保健事業について、今後も皆さんの健康増進をより一層はかりながら、限られた予算を有効に活用できるように努めてまいります。

■ 介護勘定

介護勘定は2億2,800万6千円の予算といたしました。

令和5年度は料率変更をおこないませんが、今後も介護納付金の増加が見込まれます。

一般勘定のように「積立金」を持たない介護勘定では、納付金が増額されると保険料率を上げて支払えるようにするしか手段がありません。

現在の社会状況を鑑みるに、今後も介護保険料は増加していくのではないかと予想されます。

令和5年度 予算概要

<<一般勘定>>

収入		支出	
科目	予算額 (千円)	科目	予算額 (千円)
保険料収入	1,168,331	事務費・組合会費	44,910
調整保険料収入	17,600	組合会費	21
繰越金	0	保険給付費	649,283
繰入金	300,000	納付金	620,002
国庫補助金収入	505	保健事業費	74,927
特定健診等事業収入	3	還付金	1,050
財政調整事業交付金	3,000	営繕費	400
雑収入・他	531	財政調整事業拠出金	17,600
		連合会費	765
		積立金	0
		雑支出・他	102
		予備費	80,910
収入合計	1,489,970	支出合計	1,489,970
経常収入合計	1,168,865	経常支出合計	1,391,009

<<介護勘定>>

収入		支出	
科目	予算額 (千円)	科目	予算額 (千円)
保険料収入	168,000	介護納付金	155,000
繰越金	60,000	介護保険料還付金	100
繰入金	0	積立金	0
雑収入・他	6	予備費	72,906
収入合計	228,006	支出合計	228,006